

平成12年度畑作関係除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成12年度畑作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成12年12月5日(火)、植調会館3階会議室において開催された。

本年度供試された畑作関係除草剤は、作用性試験6剤、適用性試験15剤であった。

このうち適用性試験については、慎重に試験成

績を検討し、実用化についての判定を行った。

また、本年度は、「畑作における茎葉処理剤の有効利用に関する研究会」として試験された薬剤についても試験成績を検討し、実用化についての判定を行った。

その結果は、次表のとおりである。

平成12年度 畑作関係除草剤・生育調節剤中央判定および使用基準

薬 剤 名	作物名	中央 判定	使 用 基 準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 ＜水量＞/a	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
2. BAS-656 乳 ジメチアミド-P 720g/L	大豆	実・継	一年生雑 草（ <u>7カブ</u> 科、 <u>アブラ</u> ナ科、 <u>タデ</u> 科 を除く）	土壌	播種後 雑草発生前	7.5～12mL ＜10L＞	全土壌 （砂土を 除く）	寒冷地以 西		・地域拡大 ・暖地における 薬害要因の検 討
	とうも ろこし 飼料用 とうも ろこし	実・継	一年生雑 草（ <u>7カブ</u> 科、 <u>アブラ</u> ナ科、 <u>タデ</u> 科 を除く）	土壌	播種後 雑草発生前	7.5～12mL ＜10L＞	全土壌 （砂土を 除く）	寒冷地以 西		・地域拡大 ・暖地における 薬害要因の検 討
3. CG-123 α 707g/L S-メトラロ-ル 24% アトラジン 25%	とうも ろこし 飼料用 とうも ろこし	実 （前年 通り）	一年生雑 草全般	土壌	播種後 雑草発生前	14～20mL ＜10L＞	全土壌 （砂土を 除く）	寒地	1) イネ科雑草の多発圃 場ではイネ科雑草の 2 葉期までに使用する。 	
						14～26mL ＜10L＞		寒冷地以 西		
				茎葉	とうもろこ し2～4葉期	14～20mL ＜10L＞	寒地			
						14～26mL ＜10L＞		寒冷地以 西		
4. HSA-970 707g/L 7エンデグイアム 14.5%	てんさ い （直播）	実	一年生広 葉雑草	茎葉	本葉2 葉展 開期、雑草 発生揃	40～60mL ＜6～8L＞	全土壌	寒地	1) タデ類に効果が劣る 場合がある。	
	てんさ い （移植）	実	一年生広 葉雑草	茎葉	活着後 雑 草発生揃、 <u>中耕後 雑 草発生揃</u>	40～60mL ＜6～8L＞	全土壌	寒地	1) タデ類に効果が劣る 場合がある。 2) 処理時の葉に一過性 の小葉斑を生じる場 合がある。	

注) _____は拡大された部分、_____は拡大部分が含まれることを示す
薬剤名の_____は新たに使用基準が作成された薬剤である

薬 剤 名	作物名	中央 判定	使 用 基 準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 ＜水量＞/a	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
5. HSW-992 水和 イソキサフル 3.7% ジメチルド-P 18%	とうも ろこし 飼料用 とうも ろこし	継								・効果、薬害の 再確認
6. KUH-901 乳 ベンチオカ-フ 50% リニロン 7.5% ベンチイタリン 5%	大豆	実・継	一年生雑 草全般	土壌	播種後 雑草発生前	50～80mL ＜10L＞	全土壌 (砂土を 除く)	寒地 寒冷地 温暖地	1) 砂の多い土壌では、 使用量を少なめにす る。 2) 土壌が極端に乾燥し ている場合は効果が 劣る。	・低薬量(50mL) の地域拡大と 効果の確認
	とうも ろこし 飼料用 とうも ろこし	実・継 (前年 通り)	一年生雑 草全般	土壌	播種後 雑草発生前	50～80mL ＜10L＞	全土壌 (砂土を 除く)	全域	1) 土壌が極端に乾燥し ている場合は効果が 劣る。	・暖地における 薬害の確認
7. KUH-959 乳 フルチアセトメチル 5%	とうも ろこし 飼料用 とうも ろこし	実	イレ'	茎葉	イレ' 3～5葉 期 とうも ろこし 4葉 以上	0.5～1mL ＜10L＞	全土壌	寒冷地以 西	1) イネ科雑草対象の土 壌処理剤と体系処理 する。 2) 処理時の葉に一過性 の白斑が生じる場合 がある。	
					イレ' 5～8葉 期 とうも ろこし 4葉 以上	1mL ＜10L＞				
8. M&B9057 液 アシュラム 37%	さとう きび (株出) (春植) (夏植)	実・継	一年生雑 草、多年 生広葉雑 草及びタ ヌメノヒ	茎葉	雑草生育初 期	80～100mL ＜15～20L＞	全土壌	暖地	1) 遅効性なので散布時 期を逸しない。 2) ヒコ科、アカザ科、ナツリガ サ科、ザクロ科、ツクサ に効果が劣る。	・効果、薬量の 再確認 ・薬害の検討
9. MON-96A 液 グリホサートアンモニウム 塩 41%	大豆 (グ' リホ サート耐 性)	継								・処理時期と効 果の検討 ・薬害(品種の 安定)の確認
	かんし よ	実・継	一年生雑 草全般	茎葉	耕起7日以 前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	25～50mL ＜2.5～ 10L＞	全土壌	温暖地 暖地	1) 少量散布(2.5～5 L)の場合は専用ノズ ルを使用する。	・草量、草丈と 散布水量との 関係
10. NBA-961 顆粒水和 タミロン 70%	てんさ い (直播)	継								・効果の確認 ・てんさいの薬 令と薬害の確 認

薬 剤 名	作物名	中央 判定	使 用 基 準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 <水量>/a	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
12. NM-536 水和 ジメチル-D 8.4% リニロン 12%	大豆	実・継	一年生雑 草全般	土壌	播種後 雑草発生前	40～60g <10L>	全土壌 (砂土を 除く)	温暖地東 部		・地域拡大 ・効果、被害の 確認(同等性 試験)
	とうも ろこし 飼料用 とうも ろこし	実・継	一年生雑 草全般	土壌	播種後 雑草発生前	40～60g <10L>	全土壌 (砂土を 除く)	温暖地東 部		・地域拡大 ・効果、被害の 確認(同等性 試験)
14. RH-731 顆粒水和 ブロンザミド 80%	てんさい (移植)	実	一年生雑 草	土壌	活着後 雑草発生前	20～30g <10L>	全土壌 (砂土を 除く)	寒地	1)乾燥条件ではヒエに対 する効果が劣る。 2)禾科、ハナタリ科に効 果が劣る。	
15. S-604 乳 クレトジム 23%	大豆	実・継	一年生イ ネ科雑草	茎葉	イネ科雑草 3～5葉期	3.5～5mL <10L>	全土壌	全域	1)イネ科雑草優占圃場 で使用する。 2)体系処理：広葉雑草 対象の既登録土壌処 理剤を使用する。	・暖地における 効果の再検討
	てんさい (移植)	実	一年生イ ネ科雑草 多年生イ ネ科雑草 (シロミギ、 レッドトウ ゴ)	茎葉	イネ科雑草 3～5葉期 多年生イネ 科雑草3～5 葉期	3.5～5mL <10L> 5～7.5mL <10L>	全土壌	寒地	1)イネ科雑草優占圃場 で使用する。 2)体系処理：広葉雑草 対象の既登録土壌処 理剤を使用する。	
16. WOC-01 液 グリホサートイソプロ ピル7シ塩 41%	さとう きび	実	一年生雑 草全般	茎葉	耕起10日以 前 雑草生 育期	25～50mL <2.5～ 10L>	全土壌	暖地	1)少水量散布(2.5～5 L)の場合は専用ノズ ルを使用する。	
			多年生雑 草全般			50～100mL <2.5～ 10L>				
	さとう きび (圃場 周縁)	実	一年生雑 草全般	茎葉	雑草生育期	25～50mL <2.5～ 10L>	全土壌	暖地	1)少水量散布(2.5～5 L)の場合は専用ノズ ルを使用する。	
			多年生雑 草全般			50～100mL <2.5～ 10L>				
17. アトラジン フォ ブル+CG-119 乳 アトラジン 40% メトラクロル 45%	とうも ろこし 飼料用 とうも ろこし	実	一年生雑 草全般	土壌	播種後 雑草発生前	15mL+30mL <10L>	全土壌 (砂土を 除く)	寒地		
				茎葉	とうもろこ し2～3葉期	10mL+20mL <10L>				

薬 剤 名	作物名	中央 判定	使 用 基 準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 <水量>/a	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
18. アトラジン 707 ブル+CG-119 α乳 アトラジン 40% S-メトクロル 82%	とうも ろこし 飼料用 とうも ろこし	実	一年生雑 草全般	土壌	播種後 雑草発生前	15mL+10mL <10L>	全土壌 (砂土を 除く)	寒地		
				茎葉	とうもろこ し2~3葉期	10mL+7mL <10L>				
19. アクロル乳+ アトラジン 707 ブル アクロル 43% アトラジン 40%	とうも ろこし 飼料用 とうも ろこし	実	一年生雑 草全般	土壌	播種後～出 芽前	20～30mL+ 15mL <10L>	全土壌 (砂土を 除く)	寒地		

畑作における茎葉処理剤の有効利用に関する研究会

薬 剤 名	作物名	中央 判定	使 用 基 準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 <水量>/a	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1) Hoe-866 液 グリホシネート 18.5%	大豆	実・継	一年生雑 草全般	茎葉	播種後出芽 前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	30～50mL <10L>	全土壌	温暖地東 部	1) 大豆の発芽開始後 は、薬剤が直接触れ ると薬害が発生する ことがあるので注意 する。	・低薬量での効 果および薬害 の確認 ・地域拡大
2) MON-96A 液 グリホサートアモニウム 塩 41%	大豆	実・継	一年生雑 草全般	茎葉	播種後出芽 前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	25～50mL <5L>	全土壌	温暖地東 部	1) 大豆の発芽開始後 は、薬剤が直接触れ ると薬害が発生する ことがあるので注意 する。 2) 専用ノズルを使用す る。	・低薬量での効 果、散布水量 (10L) および 薬害の確認 ・地域拡大
3) NH-501 707ブル ピラフルフェンエチル 0.19% グリホサートトリメシウム 塩 28.5%	大豆	実・継	一年生雑 草全般	茎葉	播種後出芽 前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	40～60mL <10L>	全土壌	温暖地東 部	1) 大豆の発芽開始後 は、薬剤が直接触れ ると薬害が発生する ことがあるので注意 する。	・効果、薬害の 確認 ・地域拡大
4) WQC-01 液 グリホサートイソプロ ピルアミン塩 41%	大豆	実・継	一年生雑 草全般	茎葉	播種後出芽 前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	25～50mL <10L>	全土壌	温暖地東 部	1) 大豆の発芽開始後 は、薬剤が直接触れ ると薬害が発生する ことがあるので注意 する。	・効果、薬害の 確認 ・地域拡大
5) YF-65L 液 ジクワットプロミ ド 7% パラコトジクロリド 5%	大豆	継								・効果の確認、 特に雑草の大 きさや草量と の関係